



公共工事等における新技術活用システム事後評価結果通知書

国東整施企第63号
国東整海技第12号
令和5年1月10日

ダンレックス株式会社 御中

国土交通省
東北地方整備局長



下記の技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を通知します。なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

- 1 技術名称 トワイライトシリーズ
- 2 NETIS登録番号 KT-200086-A
- 3 評価結果 活用効果評価結果のとおり
- 4 継続調査等の必要性について 継続調査等を必要としない。
- 5 その他 この結果に基づき、当該技術のNETIS登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初にNETIS登録した翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日まで延長されます。
また、今後の活用効果調査及び事後評価は実施されません。

異議申立について

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日から起算して10日以内に整備局長宛てに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申立を行うことができます。

(提出先)

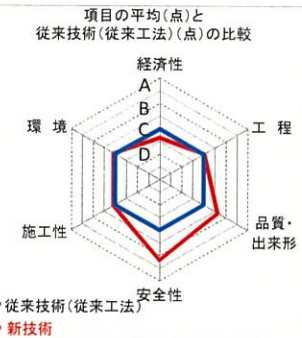
東北地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

令和4年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	安全性の向上、品質の向上																				
	新技術登録番号	KT-200086- VE	区分	製品	有用な技術の位置づけ	-																
	分類	仮設工 - 仮設材設置撤去工																				
	新技術名	トワイライトシリーズ (薄暮時に高輝度で発光する注意喚起のための工事灯)																				
	比較する従来技術 (従来工法)	工事灯(ソーラー式)																				
新技術の概要及び特徴	本技術は工事規制区域において薄暮時に高輝度(約1000Lx~200Lx)発光により注意喚起を行う工事灯で、従来は工事灯(ソーラー式)で対応していた。本技術の活用により薄暮時の視認性が高まり、発光照度誤差も小さくなるので、安全性及び品質の向上が図れます。																					
活用効果評価	所見	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 なお、下記の理由により、品質・出来形、安全性については従来技術より優れた評価を得ている。 品質・出来形: 薄暮時、夜間時それぞれに合わせた照度で発光するため、視認性が良く品質が向上する。 安全性: 薄暮時、夜間時も視認性が良く安全性が向上する。																				
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査の結果、活用現場の違いによる大きな差異は認められないため、情報種類記号を「-VE」とし、今後の活用調査、事後評価は実施しないものとする。																				
	留意事項																					
	活用効果調査表における改良点及び要望																					
活用効果調査結果	対象工事	1	道路改良工事	「中国地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		2	砂防遊砂地工事	「北海道開発局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		3	防災工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		4	防災対策工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		5	維持工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		6	養浜工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		7	維持工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		8	待避場整備工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		9	道路維持工事	「北海道開発局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		10	堆砂撤去工事	「近畿地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		11	道路維持工事	「北海道開発局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		12	維持補修工事	「東北地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		13	河道掘削工事	「中部地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R4															
		14	待避場整備工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		15	函渠補修工事	「関東地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		16	CCTV設備工事	「北陸地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		17	築堤護岸工事	「関東地方整備局」	(従来技術:工事灯(ソーラー式))	施工者選定型(契約後提案)	R3															
		活用効果調査結果	項目	ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	項目の平均(点)
経済性	C			D	B	D	D	C	D	C	C	C	C	C	B	C	C	D	D	C	C	
工程	C			C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
品質・出来形	B			A	B	B	B	B	B	C	C	B	B	C	C	C	C	B	C	B	C	C
安全性	B			A	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	C
施工性	C			C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C
環境	C			C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C
その他	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合評価点	C			C	B	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい			活用を検討したい			場合によっては活用することもある			技術の改良を強く望む			優位性における判定									
	28%			55%			14%			3%			A		従来技術より大幅に優れる							
													B		従来技術より優れる							
													C		従来技術と同等							
													D		従来技術より劣る							
追跡調査の必要性	無し																					
追跡調査	-																					



公共工事等における新技術活用システム
事前審査結果・事後評価結果の公表への同意書

令和 年 月 日

国土交通省

東北地方整備局長 殿

会社名 (法人印)

代表者氏名 (公印)

所在地

電話

下記技術に関する事前審査結果・事後評価結果、ならびにその公表について、実施要領に基づき、同意いたします。

記

登録技術名及び NETIS 登録番号	
事前審査結果 ・ 事後評価結果の 通知年月日	